

八潮新校準備委員会（第4回） 議事録

- 1 日 時 令和6年6月7日（金） 午前10時00分開会
午前11時30分終了
- 2 会 場 県立八潮南高等学校会議室
- 3 出席委員 依田委員長、福島副委員長、白井副委員長、菊池委員、猪原委員、藤波委員、平越委員、土川委員、福良委員、廣川委員
- 4 事務局 魅力ある高校づくり課 出井、渋沢、坂本、高辻、小川
- 5 協 議 新校の校名検討について
依田委員長 それでは次第3、協議に入ります。それでは「【資料1】校名検討の流れ」について、事務局から説明をお願いします。
事務局 （「【資料1】校名検討の流れ」について説明）
依田委員長 ただ今、「【資料1】校名検討の流れ」について事務局から説明をしていただきましたけれども、これについて、委員の皆様、御質問、御意見ございましたらよろしくをお願いします。よろしいでしょうか。では、このような流れで進めてまいりたいと存じます。続けて資料2と資料3について、事務局の方から説明をお願いします。
事務局 （「【資料2】校名アイデア募集の概要（案）」及び「【資料3】校名アイデア募集案内（案）」について説明）
依田委員長 では、一つ一つ確認をしながら、御意見、御質問を受けてまいりたいと思います。まずは全体を通して何かございますでしょうか。福良委員、お願いします。
福良委員 資料3の応募用紙の名前の欄のところに、在籍生徒はチェックしてください、という項目があるのですが、このご時世、どのようなことがいじめにつながるか分からないので、無記名の方が良いのではないのでしょうか。私も4月から異動になって、定時制高校に勤務しているのですが、定時制高校には、コミュニケーションが上手くとれない子や、中学校時代にいじめに遭って不登校になってしまった子も多く在籍しています。在校生全員に応募してもらうのであれば良いのですが、何がいじめにつながるか分からない以上、名前は記載しない方が良いのではないかなというのが個人的な意見です。
依田委員長 ありがとうございます。今の御質問について、事務局はいかがですか。
事務局 ありがとうございます。まず、記載いただいた個人情報については、校名アイデア募集以外の目的には一切使用しないこととしております。在籍生徒のチェック欄については、事務局としては是非、在校生のアイデアを伺いたいと考えておりました。このように設けさせていただきました。今、福良委員からいただいた御意見

については、十分に配慮しながら募集を行ってまいりたいと考えております。

依田委員長 福良委員、いかがでしょうか。

福良委員 分かりました。

依田委員長 改めて確認ですが、記載した名前が表に出ることはあるのでしょうか。

事務局 表に出ることは一切ございません。委員会の中でも誰が出したアイデアなのか、というところは一切伏せて御提示いたします。

依田委員長 アイデアを出した方のお名前は、我々委員にも知らせないということでもよろしいでしょうか。

事務局 そのとおりです。なお、名前を記載いただく理由については、応募に責任をもっていただきたい、ということや組織票のような状況が起こらないように、というところもございます。

依田委員長 いかがでしょうか。藤波委員お願いします。

藤波委員 であれば、名前の記載はいらないのではないのでしょうか。在籍しているかしていないかのチェックだけで良いと思いますが。個人名が必要な理由が、今の説明からでは余り良く分からないのですが。

依田委員長 事務局どうぞ。

事務局 最後に少し触れさせていただいたのですが、無記名ですと、同じ方が何十件も応募してくる、というケースも考えられます。もちろん複数のアイデアを応募する場合には、同じ方が何度か応募することになるのですが、第1期の状況も踏まえながら、このようにさせていただいております。

藤波委員 アイデアの募集であるなら組織票も関係ないので、そこまで強制する必要もないのかなと思います。

事務局 御指摘はごもっともだと思います。例えば、対象校両校の在校生や卒業生の人数を比較しても、そこには差があり、公平ではないと考えております。ですので、数は関係ありません。一方で、名前を記載いただくのは、先ほどの説明に加え、事務局としてどの地域のどのような方々から御応募いただいたのかを整理しておきたいという思いもあります。

藤波委員 記名欄があった方がよいのか、校長先生方の御意見を伺えればと思います。

福島副委員長 個人情報をしっかり守っていただくということを前提に、例えば生徒個人の端末から応募してもらう、といったような配慮を行えばと考えております。こういった応募に関して、一人一人が責任をもって応募するものである、という話も含めて、実施してまいりたいと思っています。

白井副委員長 先ほどの説明にもありましたが、責任をもつという点からすれば、記名式はある一定の効果があると思っています。ないとは思いますが、少しふざけた気持ちで応募してしまうこともあるかもしれません。個人情報保護という点も確認されておりますので、そういった観点から、よろしいのかなと思っています。

依田委員長 ありがとうございます。記載の必要性について、他の委員の皆様から何かございますか。では、再度事務局に伺います。記名の必要性についてもう一度御説明をお願いします。

事務局 はい、記名については、副委員長の御発言にもあったように、責任をもつ、

という点が非常に大きいです。校名は学校にとって非常に重要な要素の一つですが、これから何十年と続く学校の校名のアイデアを応募するということを自覚して、応募してほしいという思いがあります。これまで行ってきた募集では、ふざけた気持ちで応募されたものも実際にごさいました。委員の皆様にご検討いただくアイデアとして、まずはしっかりと募集を行ってまいりたいと考えております。

藤波委員 ということは、過去の募集の結果として、統合した学校の生徒の応募数が一般の方々からの応募より圧倒的に多かったということでしょうか。今の説明を伺って、各学校の生徒が責任をもって、ということであるなら、生徒一人一人に義務的に応募させるような誘導に聞こえたものですから。生徒の応募の方が、比重が大きくなることを期待しているのか、そのあたりを伺えればと思います。

事務局 生徒の応募については強制しない、という考えです。これはどの新校にも伝えております。例えば、いきなりその場で書きなさいと指示しても書けるものではありませんから、ある程度の期間を設けて、応募してみたいという気持ちのある生徒に、応募してもらえたらと思っています。

藤波委員 過去の募集における、生徒と一般の方との応募比率はどのような結果だったのでしょうか。記名をしているということは、そのようなことも記録しているように思うのですが。

事務局 数は考慮しないこととしている一方で、在校生の御意見は是非伺いたいというところで、このような形をとらせていただいております。生徒の意見が埋もれてしまわないようにしていきたいと考えております。

依田委員長 少し確認ですが、第1期の児玉高校や飯能高校では、生徒なのか一般の方なのか、分かるような形になっていたのですか。

事務局 第1期の募集では分けておりませんでした。ただ、地元の中学校などには学校ごとに聞いていたこともあって、それらは中学生の意見としてまとめていたようです。

依田委員長 藤波委員の御意見は、これまでの募集における応募比率を教えてくださいということなのですが、事務局はその比率をデータとして持っているのですか、いないのですか。

事務局 そのようなデータは今、手元に用意しておりません。

依田委員長 調べれば分かるものなのですか。

事務局 すみません、これまでそのような分け方をしておりませんでしたので、調べるのが難しい状況でございます。

依田委員長 改めて確認ですが、これまでの募集では、在校生と一般の方の意見を分けることはしてこなかったということで、今回、初めて在校生のチェック欄を設けた、ということよろしいですね。

事務局 そのとおりです。

依田委員長 藤波委員、こういうことのようにです。

藤波委員 分かりました。今までどうだったのか、ということに疑問があったものから。

依田委員長 では改めて、今回、初めて在校生のチェック欄を設ける様式にした、と

ということなのですが、生徒にチェックさせることについて、先ほど福良委員からも御指摘がありましたけれども、他の委員の皆様から御意見はありますか。はい、先ほどの藤波委員の御質問と事務局の回答を伺っていて、やはりアイデアですから、余り責任ということを強調しすぎるのもよろしくないのかなと思いました。気軽に自由に応募いただくことも大切なことだと思いますが、ここはふざけた気持ちの回答を防ぎたい、という理解でよろしいですかね。

事務局 そのとおりです。一方で、強制したり、応募を躊躇したりしてしまうことがないように、表現に気を付けてまいりたいと思います。

依田委員長 藤波委員、いかがですか。

藤波委員 はい。

依田委員長 ありがとうございます。それでは、全体を通して他に御意見はありますか。

菊池委員 資料2の応募方法のところですか。せっかく資料3のような紙ベースの応募用紙があるのに、これに記入するには、ダウンロードなり、パソコンからの操作が必要であるように認識しているのですが、そのことが可能な方にしか応募ができないのでは、と感じました。それと周知方法について、地域の広報誌などで周知とあるのですが、例えば広報「やしお」に掲載してほしいという意味合いだとするならば、7月号への掲載に当たり、手続き期限が過ぎているように思うのですが、問題はないのでしょうか。

事務局 広報「やしお」については、実はすでに御案内させていただいております。教育長の記者会見が14日でございますので、それ以降となる7月号への掲載をお願いしております。応募用紙については、先ほどの説明の中でも申し上げましたが、県ではDX化を進めており、紙媒体で印刷することは現在、考えておりません。ただ、市町の方で御要望があれば、御相談させていただこうと思います。

依田委員長 菊池委員、いかがですか。

菊池委員 はい、ありがとうございます。

依田委員長 それでは、他にいかがでしょうか。はい、菊池委員、お願いします。

菊池委員 確認ですが、資料3の募集案内について、標題には八潮新校と入ると思うのですが、同じタイミングで他の新校もアイデアを募集するかとと思いますが、同じように募集案内があるのでしょうか。

事務局 6校の新校が開校いたしますので、募集案内も6種類用意しております。

菊池委員 そうしますと、例えば公共施設等に掲示する場合には、八潮市の場合は八潮新校の募集案内を掲示する、という形でしょうか。

事務局 そのように考えております。御意見をいただきたいとも思っておりますが、通学圏内の市町、ということで、例えば秩父地域には秩父・皆野新校の募集案内を掲載いただこうと考えております。

菊池委員 例えば県庁では、6種類掲示するのでしょうか。ホームページの掲載方法等も参考に教えていただければ。

事務局 県庁では、もちろん6種類平等に掲示したいと思います。ホームページについては、新校ごとに分かりやすく掲載したいと考えております。募集案内の二次元

コード等も、直接応募したい新校の入力ページに入れるような形にしたいと思っています。

菊池委員 ありがとうございます。

依田委員長 ただいまの菊池委員の御質問についてですが、これについては準備委員会ごとに考え方が異なる部分がございます、今、事務局から説明いただいた中で申し上げますと、例えば秩父・皆野新校であれば、秩父地域のことを余り詳しく知らない方からアイデアを出されるよりも、秩父地域を良く知っている方にアイデアを応募してもらいたい、という御意見や、秩父郡市を中心に広報をしていきたいと思います、という御意見がありました。一方、和光新校では、国際科を設置する学校として、地域だけにこだわらず、幅広く広報をしていきたいと思います、という御意見がありました。そこで、今の菊池委員の御質問に戻りますが、県としては、一律に各市町村教育委員会等に広報するわけですが、準備委員の皆様の中で、この件についても御意見があれば、伺ってまいりたいと思うのですが、菊池委員は何かございますか。

菊池委員 6種類全てを掲示するのは、なかなか難しいように感じます。その点では、地域を重視した広報をした方が有効なのかなと思います。ただ、今、おっしゃったように全県的な話で言うと、他地域にも興味のある方はいらっしゃるでしょうから、広く6校で募集しているということが分かるようにすることも大切なのかなと思います。

依田委員長 ありがとうございます。今の件について、何か御意見はございますか。

はい、これにつきましては、県としての広報と地元八潮市の協力との合わせ技という形でしょうか。そのような形で対応させていただければと思います。事務局はよろしいでしょうか。

事務局 是非、協力をお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。

依田委員長 それでは、他に御意見はありますか。では、ここからは細かく区切って進めてまいりたいと思います。「【資料2】校名アイデア募集の概要（案）」を御覧ください。まず資料2の「1 趣旨」と「2 募集期間」について、御了承いただいでよろしいでしょうか。ありがとうございます。先ほど事務局からもありましたように、6月14日に記者発表を予定しております。今日の会議は公開としておりますので、おのずとこの日程についても公開となるかと思いますが、県で14日に記者発表を行いますので、14日までは広く広報するということはございません。御承知おきください。続いて「3 応募要件」ですが、こちらも先ほどの周知の話と似た話になってしまいましたが、地域も国も国籍も問わない、ということになります。これについてもよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。次に「4 応募方法」については、先ほど藤波委員から御質問がございましたので、ここではこれ以上の説明はないのですが、何か御意見はありますか。はい、では「5 周知方法」にまいります。こちらについても菊池委員からの御質問等ございましたが、いかがでしょうか。では、「6 その他」に移ります。こちらはまた皆様の御意見、御質問をいただきたい項目となっております。まず1行目に「応募のあった校名アイデアをもとに、新校準備委員会において校名案候補（複数案）を選定。」とあり

まず、先ほどの事務局からの説明と併せて、皆様とイメージを共有したいと考えているのですが、今回募集するのは校名アイデアです。もちろん、具体的な高校名を応募いただくことも可能ですが、一方で、例えば「〇〇といった言葉を校名に入れてほしい」といった御意見も併せていただきたいと考えております。また「選定」という表現を使用しておりますが、選ぶというよりも、この準備委員会で校名案をつくっていただくというイメージでおります。ですから、応募されたアイデアの中から選ぶということではなくて、アイデアをもとに準備委員会の中で議論を重ねながら、校名案をつくっていきたくと考えておりますが、この考えについて、委員の皆様から御意見はございますでしょうか。もしかしたら、複数のアイデアを重ねながら案をつくっていくということもあるでしょうし、直接アイデアを使用するのではなく、アイデアを参考にして、委員の皆様にご具体的な案をつくっていただくことも可能だと考えております。これは次回以降の準備委員会での協議の話になってまいります。そのように考えておりますので、協議の進め方についての共有をお願いします。そして、1行目にもう一つ、「校名案候補（複数案）」となっているところです。この準備委員会の中で、一つの案に絞り込んでいく、ということも考えられるかと思えます。事務局の説明にもありましたとおり、議会に提案する権限は知事が持っており、知事が議会に提案することになります。そして私たち教育委員会は、知事に対して校名案を提示する役割を持っておりますが、この準備委員会の皆様の御意見によってつくられた校名案を、教育委員会の案として提示してまいりたいと考えております。そこで、皆様の御意見、御質問があればいただきたいのですが、私たちは知事に複数案を提示し、そこから知事に選んでいただいて、議会に提案いただきたいと考えているのですが、そこに優先順位を付けるのか、全て同列のものとして提示するのか、という議論はあろうかと思えます。優先順位については次回の準備委員会での議論となりますが、複数案をつくっていくことについて、御意見があればお願いします。よろしいでしょうか。では、御理解いただいたということで、次回以降の準備委員会において、校名案候補を複数案つくってまいりたいと思えます。ちなみに複数案について、事務局では具体的にどれくらいの数を想定しておりますか。

事務局 これまでの例を踏まえ、3～5案に絞り込みたいと考えております。

依田委員長 では、1行目の記載については、そのように御理解いただければと思います。2行目の記載に移ります。まず、投票ではない、となっておりますが、準備委員会で案を選定していくに当たって、応募数を考慮しない形でいきたいと考えておりますが、このことについて何か御意見はございますか。御理解いただいたということでよろしいでしょうか。そうすると、それぞれのアイデアの応募数は関係なくなりますので、2回目の協議を行う際の資料について、事務局はどのように考えていますか。

事務局 応募数を示さない形で用意したいと考えております。

依田委員長 先ほどの事務局の説明だと、名前も応募数も示さないことになります。では反対に、何が示されるのでしょうか。

事務局 まだ検討中ではありますが、応募いただいたアイデアとその理由をまとめた資

料としたいと考えております。

依田委員長 改めて確認ですが、次回の資料では、応募されたアイデアとその理由の二つが示されるということによろしいですね。

事務局 そのとおりです。

依田委員長 委員の皆様の方で、何かございますか。

菊池委員 提出されたアイデアについては、全てお示しいただけるのでしょうか。

事務局 そのように考えております。一部、悪意のある応募やふざけた気持ちで応募されたアイデアは除く可能性もございますが、基本的には全てお示ししたいと考えております。

菊池委員 アイデアとその理由については、資料として全て見られる形になるのでしょうか。

事務局 そのように考えております。

菊池委員 そうすると、同じアイデアでも理由は人それぞれだと思しますので、提示したときに理由がたくさん並んでいて、そこからおのずと件数も分かってくるように感じるのですが。

事務局 理由についても、同じ趣旨のものはまとめていきたいと考えておりますが、おっしゃるとおり、資料からある程度件数のイメージができてしまうかもしれません。

菊池委員 分かりました。

依田委員長 先ほど在校生のチェック欄について話題がありましたが、資料を見たときに、在校生のアイデアかどうか分かるようになるのでしょうか。

事務局 一般の方のアイデアとは別資料として、お示ししたいと考えております。

依田委員長 はい、他にいかがでしょうか。では次回の協議に当たっては、アイデアとその理由、在校生からの応募かどうか分かる形で、基本的には全て示していただく、という形によろしいですね。

事務局 はい。

依田委員長 分かりました。では次に移ります。3行目は先ほどお話したとおりですので、4行目についてです。菊池委員の御質問にも重なるのですが、校名決定後に公表とありますが、どこまで公表いただけるのでしょうか。

事務局 公表については、どのようなアイデアがあったか、ということその理由について、具体的な日程は決まっておりませんが、校名決定後に公表したいと考えております。なお、委員の皆様には、公表より少し前にお示ししたいと考えております。

依田委員長 重ねて質問ですが、これは応募数も公表するのですか。

事務局 はい、そのように考えております。

依田委員長 校名決定後ですので、県議会の議決後ということになります。御理解賜りたいと思います。他にいかがでしょうか。

猪原委員 今の八潮南高校の1年生が3年生になったときに、新校が開校することで、現役の子どもたちが直接、校名に関わることとなります。ですので、どこかの場面で、例えば八潮南高校には素晴らしい生徒会がありますので、生徒会の生徒が検討に関わるような形があっても良いのかなと考えています。県の学校ですが、

子どもたちの学校でもあるので、具体的なことは思いつかないのですが、子どもたちが関わると良いと思っています。

依田委員長 今回の猪原委員の御意見は、準備委員会との関わり方について、重要な点があります。今回の準備委員会を実施するに当たって、生徒の考えをどのように吸い上げていくのか、県教育委員会として考えておりました。一方で、準備委員会で校名案をつくっていただく中で、生徒と準備委員会の関係をどう整理するか、という課題がありました。例えば、県教育委員会が直接、生徒から校名案をいただいたとすると、準備委員会でつくっていただいた案と、どう整合性を取るのか、という問題が生じてまいります。そこで、委員の皆様には猪原委員からの御提案について、御意見があれば伺いたいのですが、準備委員会が校名案を選定する、ということについて変更せずに生徒の意見を聞くとなると、これは県教委ではなく、準備委員の皆様には聞いていただくしかないのだと考えております。となると、準備委員会として生徒の意見をどう扱うのか、ということになりますが、今のところは在校生のチェック欄にチェックいただいて、在校生からのアイデアとして整理した上で検討いただく、という形で話を進めてまいりました。猪原委員の御意見のようにもう一歩踏み込んで行うことについて、準備委員の皆様はどのような御意見でしょうか。また猪原委員から御提案について何かあればお願いしたいと思います。

猪原委員 実際に委員会の場に生徒を呼ぶのは難しいだろうと思います。アイデア募集の募集案内に戻りますが、具体的な考えとしては、生徒一人一人に意識して関わっていただいた方が良いのかな、という意味で、中学校ではショートホームルーム等で書いてもらう、といったことが考えられます。もちろん、無理に提出いただく必要はないのですが、そこまで意識していただくことで、本気になって自分たちの学校の校名を決めていこうとする意識が芽生えるのではないかなと感じています。在校生のチェック欄にチェックいただくくらいなら、直接生徒に書いてもらった方が良いのかなと思っています。

依田委員長 ありがとうございます。これは各校の校長先生のお考えになってくるかと思っておりますので、それぞれお伺いしたいと思います。

福島副委員長 先ほど応募する生徒の個人情報の話題もありましたが、例えば記名することに抵抗感があって、応募しないということもあるかと思っております。応募については電子申請システムでの入力と紙ベースの応募がありますが、どちらでも構わない、という言い方で説明させていただければ、課題もクリアできるのではと考えております。

白井副委員長 積極的に生徒に応募してもらえよう努めたいと考えております。ありがとうございます。

依田委員長 私たち県の教育委員会の方でも、知らなかったということがないようにしたいと考えておりますので、各学校には周知をお願いしたいと思います。

猪原委員 ありがとうございます。八潮南高校も八潮高校も八潮市内にあります、生徒全員が八潮市から通学しているわけではなく、例えば草加市や越谷市等も、大変多いかと思っております。八潮市教育委員会としましても、中学校にどのように周知するのか、というところで、自分事と捉える機会になると考えています。両校長先生

からも御意見をいただけたので、これから地域にある自分たちの高校の名前が決まるんだよ、ということで、八潮市には五つの中学校がありますが、各中学校の校長先生に周知をお願いしていくことが、地域に還元することなのかなと考えています。

依田委員長 ありがとうございます。中学校の話題もありましたが、中学校長として平越委員に御意見を伺いたいと思うのですが、いかがでしょうか。

平越委員 猪原委員からお話があったように、応募するのは自由ですが、本校でもきちんと周知してまいりたいと考えております。

依田委員長 ありがとうございます。他に御意見ありますでしょうか。はい、では両校の校長先生並びに中学校長の皆様には、御配慮賜りたいと存じます。時間も迫ってまいりましたが、「【資料3】校名アイデア募集案内（案）」に移りたいと思います。こちらについて、何か御意見はございますか。あくまでイメージですので、最終的には大きく変わってくるかとも思いますが、何かお気づきの点があればお願いします。福良委員、お願いします。

福良委員 今回、6校募集するのであれば、中心となる学校の下に、残りの5校の情報を追加しても良いのかなと感じました。応募用紙で都道府県や市区町村まで記入する様式になっていますし、転勤等で地元から離れている方もいらっしゃると思いますので、母校が校名アイデアを募集しているということであれば応募したい、という方も少なからずいらっしゃると思います。そういった意味で、他の新校のことを追記するのも良いのかなと感じました。

依田委員長 事務局、いかがでしょうか。

事務局 御意見ありがとうございます。紙面の都合もあり、難しいかもしれませんが、検討してまいりたいと思います。

依田委員長 実際にはホームページから御応募いただく方がほとんどだと思いますので、他の地域も募集をしていることが分かるように、工夫いただければと思います。

事務局 そのようにしたいと思います。

依田委員長 はい、他にいかがでしょうか。

福良委員 具体的に教えていただきたいのですが、周知についてはどの辺りの地域まで考えているのでしょうか。

事務局 基本的には県内の全市町村を対象に周知したいと考えております。

依田委員長 では、最後に全体を通して何かあればお願いします。土川委員はいかがですか。

土川委員 皆様に全てお話いただきましたので、大丈夫です。

依田委員長 分かりました。よろしいでしょうか。それでは本日の議題は以上となります。ただ、事務局の方から次回の会議について提案があると伺っていますので、事務局からお願いします。

事務局 はい、事務局から提案させていただきます。次回の会議を8月の下旬頃に行う予定なのですが、今回は会議を非公開とさせていただきたい、という提案でございます。委員の皆様には校名案を御検討いただくに当たってしっかりと皆様の御意見を反映させていくために、また傍聴を希望される方に事前に非公開となることをお示しするために、ここでお諮りしたいと考えております。

依田委員長 事務局から提案がありましたが、次回の委員会を非公開とすることについて、何か御意見はございますか。非公開となりますと議事録は作成しますが、ホームページ上の公開はなくなります。また次回の協議内容については他言ができなくなりますので、その点を御理解いただいた上で、御承認いただけますでしょうか。はい、分かりました。では次回の委員会は非公開とすることを決定させていただきます。事務局の方は、その旨、対応をお願いします。

事務局 御協議ありがとうございます。そのように対応させていただきます。

依田委員長 それでは、議事を終了いたします。